

総合病院で働く心理職のグループ・スーパービジョン（2026年度）

急性期総合病院の心理臨床では、医療現場の慣習や文化の強烈な圧力の中で、チームの一員として他職種と連携し臨床心理学独自の専門性を発揮せねばなりません。援助対象も、精神疾患の患者だけでなく、がんなどの重篤な傷病や終末期の患者、NICUの患者や家族、ケアする医療従事者などと多岐に渡ります。他の臨床ではあまり体験しない患者の死にも日常的に遭遇し、心理臨床家自身もこれに対処せねばなりません。

重篤な傷病の患者の『こころ』は、病的な肉体に囚われ隷属させられています。また必要な治療や看護はしばしば侵襲的で、自由を奪われているだけでなく、『こころの尊厳』が著しく損なわれている可能性があります。それゆえに総合病院の心理臨床は、この『患者のこころの自由と尊厳』を取り戻す援助です。面接では、患者の語り（『こころの語り』）に耳を傾ける対話を通して、意識/無意識の両面から『こころのことを考える』ことで、肉体に隷属させられて虐げられている、『患者のこころの自由と尊厳』を取り戻し、たとえ終末期であろうとも死ぬ直前まで『人間としての尊厳と自由』を保ったまま、well-beingを追求して生きられるように支援することだと思われまます。

スーパービジョンでは、臨床心理士・公認心理師としてアプローチした、セラピーのように構造化できない、あらゆる援助の様子の観察レポートを事例にします。ワーク・ディスカッションの方法を応用して、「新たな臨床の知」を探索します。

【主催】くわな心理相談室

【定員】10名程度

【参加費】¥55,000（税込）

【日程】原則毎月第4土曜日 年10回 18:00～20:00

4/25(ジョイニング), 6/27, 7/25, 8/22, 9/26, 10/24, 11/28, 12/26, 1/23, 2/27(振り返り), 3/27(予備日)

【開催形式】ハイブリット（会場参加者とオンライン参加者によって構成されます）

【会場】くわな心理相談室

【スーパーバイザー】鈴木 誠（くわな心理相談室 主宰）

日本精神分析学会認定スーパーバイザー・認定心理療法士

【締切り】2026年4月12日

*応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

*参加希望者が4名に満たない場合は、開催されません。

【参加申込方法】

QRコードまたはURLからお申し込みください

<https://forms.gle/Vgm5V9Z9bAEnhJZi6>

〒511-0811 三重県桑名市東方山手通 155-1 シャトレ桑名 201

くわな心理相談室

桑名駅（近鉄名古屋線から20分）にて下車、西口（近鉄側）すぐ

問い合わせ先：cpkuwana@pp.iij4u.or.jp

